

議 事 録

会 議 名	第4回 淡路市都市計画マスタープラン策定会議
開催日時	令和8年 3月 25日 (水) 14:00～16:10
開催場所	淡路市防災あんしんセンター 多目的ホール
出席委員	10名
協議事項	(1) 淡路市都市計画マスタープラン素案
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 淡路市都市計画マスタープラン 素案検討資料</li> <li>・資料2 淡路市都市計画マスタープラン 地域懇談会意見のまとめ</li> <li>・資料3 第3回淡路市都市計画マスタープラン策定会議 主な意見とその対応</li> </ul>

発言者	議 事 内 容	(文中敬称略)
座 長	(1) <b>淡路市都市計画マスタープラン素案</b> ・事務局に説明をお願いしたい。	
事務局	・(資料3 説明)	
座 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回会議でいただいた主な意見への対応内容について説明があった。あわせて、資料の公表や今後の活用のあり方、地域別構想や都市計画制度の検討内容も踏まえながら、本日の議論をお願いしたいとの説明であった。</li> <li>・この段階で、分かりにくい点や補足が必要な点、ご意見等があればお願いしたい。</li> </ul>	
委 員	・最終的に出来上がったものを冊子にした際、それを各住民に配布する段取りなのかを確認したい。	
事務局	・資料として冊子は作成する予定であるが、現時点では全戸配布までは想定していない。概要版の作成や、データをホームページに掲載することは考えている。	
委 員	・都市計画の見直しが進んでいく中、今回こうして策定会議で積み上げてきた資料を最終的にどう活用するつもりなのか。全戸配布が難しいとしても、議員にも配らず、市民にも十分届かないとなると、これまで検討してきた資料がどう活用されるのか分からない。淡路市が今後どう進んでいくかの道標になる計画だと思うので、全部配るのが難しいのであれば、せめて概要版を作って配布するなど、計画を活用していく姿勢が必要ではないかと思う。	

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>この計画は都市整備に関わる基本的な方針を示すものであり、今後はこれに基づいて各課が個別計画をつくり、実施に移していくことになる。冊子本体を全戸配布するのは難しいが、ホームページへの掲載、図書館への配置、各事務所での閲覧、議員や庁内職員への共有などは考えている。概要版についても、作成の必要性を踏まえて、配布方法も含めて検討していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>淡路市の総合計画も今後検討が進んでいくと思うが、この都市計画マスタープランとの整合性はどうか。担当課は違うと思うが、きちんとすり合わせをしながら進めていくとの理解でよいのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画マスタープランは総合計画に即して策定する必要があるため、当然、総合計画を前提として進める。総合計画の内容を確認しながら、都市計画マスタープランに反映すべきところは反映していく。今回の資料にも、総合計画の策定状況に応じて見直す可能性がある旨を記載している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画よりも、こちらの都市計画マスタープランの議論の方が先に進んでいるようにも見えるので、本来は逆ではないかという印象もある。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画はまちづくり政策課が所管しているが、それぞれの所管課の意見を踏まえて作成している。都市計画マスタープランの内容についても、齟齬が出ないように十分調整していく。</li> </ul>
座長	<ul style="list-style-type: none"> <li>こうして検討会を重ねて出来上がったものが、本当に淡路市の政策につながるのかが大事だと思う。冊子をただ配るという話ではなく、市民にも議員にも、どういう考え方で何を目指す計画なのかが伝わるように、ある程度説明していくことが必要だと思う。都市計画課題に少しでも関心を持ってもらえるような見せ方を考えてほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>素案の p10、p11 あたりについて、凡例の文字が小さいところがあり、かなり見にくい。法適用のメッシュも判別しにくく、色分けももう少し工夫が必要だと思う。</li> <li>p18 に公共交通の図は、住宅地がどこにあって、居住地から交通網がどれくらいの距離にあるのかが見えにくい。あわ神あわ姫バスやデマンド交通など、地域交通網と居住地との関係が分かる図があると、課題も把握しやすいのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>図面については、必要に応じて分割したり拡大したりしながら見やすく整理できればと思う。交通と居住地との関係も含めて、どのような示し方ができるか検討したい。</li> </ul>
座長	<ul style="list-style-type: none"> <li>他にご質問等なければ次の説明をお願いしたい。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（資料1 第5章、資料2 説明）</li> </ul>
座長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・只今の説明は、地域別懇談会で出された意見の概要と、それを踏まえて整理した第5章「地域別構想」の内容についてであった。各地域で実施したワークショップでは、策定会議でも議論してきた交通や開発、暮らしの環境の変化といった課題が、より生活実態に即した形で示されていたように思う。</li> <li>・その上で、中央部地域、東部地域、西部地域の3地域に分けて、地域ごとの特性、課題、目標、まちづくりの方針について説明があった。都市計画マスタープランは、今後の方向性を示すものであり、そこから具体的にどうまちづくりに生かしていくのが重要になると思う。</li> <li>・市民への意見聴取として地域別懇談会を行ったことは重要だと思う。参加人数としては決して多くはないかもしれないが、30～40名程度の方に来てもらい、それぞれの地域で意見を聞いている。資料2の全地区共通の意見を見ても、策定会議で議論してきた内容が、より生活実態に即した形で出てきているという印象を受けた。</li> <li>・都市計画マスタープランは方向性を示す計画であり、その上でどういう風に具体のまちづくりに使えるのが大事だ。そこで確認したいのが、淡路市では阪神・淡路大震災の教訓などを踏まえて、既に安全な市街地形成がある程度進んでいるのかどうかという点である。また、安全なまちはできたものの、当初想定していたようには活気が戻っていない、あるいは人口や機能が戻っていないといったことがあるのであれば、それ自体も都市計画上の課題として位置付けていく必要があるのではないかと。</li> <li>・さらに、中央部地域の防災方針を見ると、「居住誘導するとともに、リスクを考慮した適切な土地利用」といった表現があるが、中央部では具体的にどのような災害リスクを想定しているのが少し分かりにくい。他地区との書き方とのバランスも含めて、確認したい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復興については、被害の大きかった地区で土地区画整理事業や密集集落に関する事業を行ってきており、道路拡幅なども含めて整備はほぼ終わっている。一部まだ終わっていない地区はあるが、できるところは進めてきた。一方で、震災前に比べて人口減少が進んでおり、整備したからといって必ずしも活気が戻っているわけではない。せっかく整備してきた地区なので、そこに人や活気を呼び戻せるような方向は考えていきたい。中央部地域の災害リスクについては、急傾斜地などを念頭に置いている。ただ、他地域と比べるとやや抽象的な書き方になっているため、必要に応じてより具体的な表現にすることは検討したい。</li> </ul>
座長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共事業や住宅整備を行い、コンパクトな市街地を形成することが重要だということであれば、整備した地区を今後どうするのかという方針がもう少しあっても良い。せっかく整備したところに、なるべく人が集住・定住できるようにすることも、コンパクトな市街地形成の一つだと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p77の都市防災のところ、<b>「志筑川などの河川改修」</b>や避難施設整備、防災対策といっ</li> </ul>

	<p>た書き方があるが、志筑川については既に防災対策が終わっている。この表現だと、まだ終わっていないようにも読めるので、書き方を整理した方が良いのではないか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認の上で、終わっているものとそうでないものが分かるように整理したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じく、記述の中に出てくる「宮池」がどこを指しているのか分かりにくい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>生穂の宮池を想定している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川改修の文脈で宮池が出てくると、どの池のことか分からない。代表例として挙げるのはよいが、どこの池か読み手に分かるような書き方にした方がよい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回からの記載もあり、担当課への確認の中で残していたが、分かりにくい表現であれば改めて整理する。各課に中身を確認しながら見直したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>p83で「明石海峡～」とあるが、一番大事なものは持続的な運行だと思う。p56では「継続の確保」と書いてあり、そこはポイントを押さえているが、明石海峡航路は単なる観光の足ではなく、戦前から地元住民の生活を支え、橋ができた後も通院や通勤・通学などにとって大事な移動手段である。p56では、そのような地域住民にとっての役割も分かる表現にしていただければと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民にとっての生活航路としての役割も含めて、表現を確認し検討したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>p84の「自然・環境・文化」のところでは、松帆周辺の砲台跡などもある。池で水没しているところもあるが、勝海舟にも関係するような歴史資源がある。市が買い取っている場所もあり、書きにくい部分はあっても、少し加えてPRしてもらえたらよいのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の関連計画には入っていると思うが、この計画の中でも扱えるかどうかを含めて検討したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>追加資料に記載されているまちづくり方針の図面と、資料1の図面とを比べたときに、どちらが最新なのか分かりにくい。追加資料の方が新しいと理解してよいのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>その理解でよい。追加資料が最新の整理である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>追加資料では、市役所周辺などに赤い点線の枠が載っているが、東浦事務所や岩屋事務所などは色が違う。資料1と見比べると、津名と東浦は都市拠点、その他は地域生活拠点という整理になっているようだが、配布資料だけを見ると違いが分かりにくい。まず凡例の整合を取ってほしい。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのうえで、旧5町の中で、なぜ都市拠点と地域生活拠点を分けたのか、どういう基準でそうしたのかを教えてください。</li> <li>・追加資料では地域生活拠点の凡例が抜けているため、修正する。</li> <li>・都市拠点と地域生活拠点の区別については、現行計画では各事務所周辺を都市拠点としていたが、実際の都市施設や病院、公的施設の立地状況を見ると、東海岸側に機能が集積している。そのため、津名と東浦を都市拠点として、その他については地域生活拠点として整理した。</li> <li>・すべての地区に同じような都市機能を持たせることは現実的に難しいため、補完し合いながら持続させるという考え方で整理している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで、行政が地域を平等に見ていなかったのではという受け止めは市民の中にもあると思う。津名が淡路市の中心であるということで、いろいろな事業が津名地域で行われてきたという現実もある。そういう中で、今後また岩屋・北淡・一宮が後回しにされるのでは、という受け止めを住民がするのではないかと。最初からそのように捉えられないような表現にした方が良くと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・差がついたように捉えられるという点について理解できる。ただ、現実的にすべての場所に同じ都市機能を持たせるのは難しい。すべてを同じにするのではなく、補完しながら市全体を持続させるという考え方で、地域生活拠点を位置付けている。</li> <li>・ただし、そうした意図が誤解なく伝わるよう、丁寧に説明できるような工夫は必要だと考えている。</li> </ul>
座長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の話も含め、拠点は合併した自治体では非常に根が深いテーマだと思う。一方で、都市計画の観点からは一定の機能分担は必要であり、その説明の仕方が大事である。市民が納得できるような考え方の整理や説明が必要だと思う。</li> <li>・路線維持には政治的な意思決定で公的な金を入れるべきではという意見だったが、一方で、この計画に記載するかは微妙である。厚みを持たせていただくのは良いと思う。都市計画的な観点で言うと、一定程度の拠点の分担は必要であり、市民が納得するような考え方等の記載は必要だと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市拠点と地域生活拠点の定義が明確に書かれていないので、見た人に誤解を生みやすいと思う。</li> <li>・資料2にもあるように、急激なまちの変化、特に岩屋のような地域では、住民の不安感がかなり強いと思う。その不安をどう解消していくかという視点も大事であり、地域の課題に対してこういうアプローチがある、という見せ方があると理解しやすいのではないかと。</li> </ul>
座長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1点目は先ほどの議論と共通する部分がある。</li> <li>・2点目については、この後の説明にも関係してくるかと思うが、地域課題への対応が見え</li> </ul>

	<p>るような構成は必要だと思う。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近言葉の分からない外国人も多く、花さじきなどに行きたいとバス乗車前に聞かれることがある。淡路インターまでは行けても、そこで降りられないことや、そこからどう移動したらいいのかが全然分からないということが多い。その辺りの案内や表記が全然なく、字も分かりにくい。淡路インターやその先でどう移動するのか、もう少し分かりやすくしてもらいたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共バスについては、外国人観光客向けに多言語対応した「busmo (バスモ)」というアプリを用意している。そうした案内をもっと活用してもらえるようにしていきたい。</li> </ul>
座長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速バス停や津名のターミナルなども含めて、今の施設は観光客の層に十分に合っていない。淡路インターチェンジのところもかなり分かりにくく、せっかく観光客が来ているのに、サインや丁寧な案内の仕組みが弱いとリピーターにもつながりにくい。それは都市計画そのものではないかもしれないが、市全体として考えるべきだと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(資料1 第6章 説明)</li> </ul>
座長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・只今の説明は、第6章「まちづくりの進め方」として、都市計画制度の活用の方、ケーススタディによる具体的な手法の整理、協働によるまちづくりの進め方、進行管理の方についてであった。</li> <li>・都市計画マスタープランは全体の方向性を示すものであるが、その一方で、実際にどう進めていくのかが分かりにくいという面もあるため、今回のように制度活用の例が示されたことには意味があると思う。ただし、これらは現時点で実施を決めているものではなく、あくまで課題改善に向けた一つの考え方、ケーススタディとして整理されているものと理解している。</li> <li>・それでは、只今の説明について、ご質問やご意見があればお願いしたい。</li> <li>・特になければ本日の議論はここまでとしたい。最後に、その他について説明をお願いしたい。</li> </ul>
事務局	<p><b>(2) その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の会議での意見を踏まえ、今後、素案の整理を進める。現在策定中の総合計画との整合を図る必要があるため、そのスケジュールも勘案しながら、7月頃に素案を完成させ、9月頃に素案に対するパブリックコメントを実施する予定である。素案がまとまった段階で、委員の皆様へ送付したいと考えている。</li> <li>・パブリックコメントでいただいた意見を反映し、12月頃に計画案として取りまとめる予定であり、その時期に策定会議を開催したい。その後、計画案について淡路市都市計画審議会に諮問し、答申を経て、令和9年4月を都市計画マスタープランの始期とするスケジュールで進めていく予定である。</li> </ul>

座 長	<ul style="list-style-type: none"><li>・次回会議の日程については、座長と調整の上、改めて案内する。</li><li>・質問等があれば、適宜事務局へ連絡いただきたい。本日はこれで閉会とする。</li></ul> <p style="text-align: right;">以 上</p>
-----	---